

Sustainable Report No.133

日本企業が手掛ける ハワイの鉄道



Satisfactory

■ 環境への影響

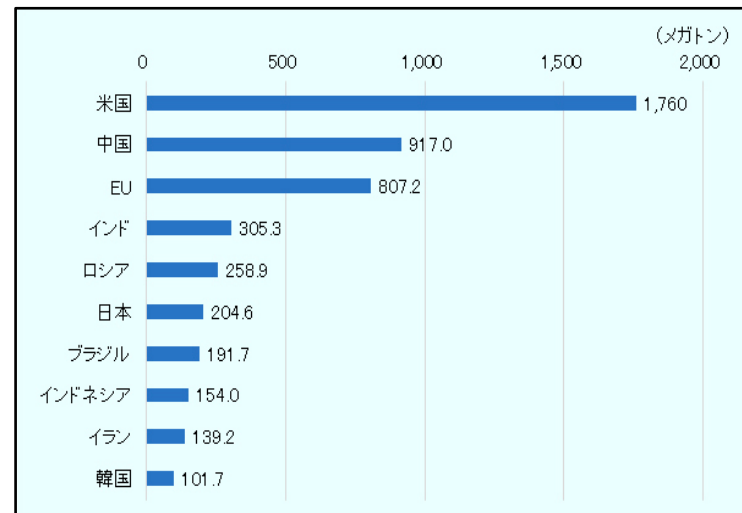
- 世界自動車保有率第2位のアメリカは、自動車による**温室効果ガスの排出量**が問題となっている
- 高速道路は無料で利用でき、自動車保険やガソリン代など**自動車の維持費が圧倒的に安い**ため自動車依存が加速している
- 2018年に排出された交通・運輸部門の温室効果ガスは世界第1位で、**世界の排出量の約2割**にあたる

■ アメリカの高速道路の様子



出典：NHK

■ 交通・輸送部門での温室効果ガス排出量



出典：ジェトロ（2018年）

自動車に依存しない具体的な対策とは

■ ハワイの取り組み

- オアフ島で日立製鉄所による鉄道「ホノルル・レール・トランジット」が2022年に一部駅開通、2031年には全駅開通する
- 島を走る21の駅には観光客が訪れるスポットが多く、自動車から鉄道へのシフトでCO2削減につながり、交通渋滞も緩和する
- 日本で主流の「鉄道を軸とした街づくり」がハワイに根付くかは未知数である

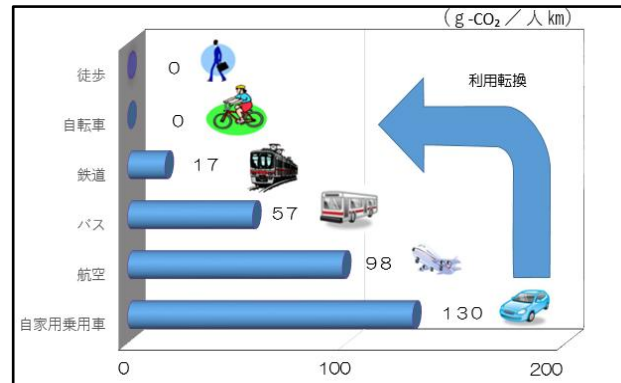
■ 車両イメージ



車内には、サーフボードや自転車を持ち込むことができる。

出典：東洋経済

■ 交通行動別CO2排出量



出典：東京都環境局（2019年）

多くの住民が鉄道を利用するためには

■ 日本の鉄道をモデルに

- ハワイは鉄道に乗ったことがなく**鉄道の利便性を知らない人**が多いため、多くの乗客を見込めない
- 多くの住民が**乗りやすく、使いやすい鉄道**を作り、乗客を増やすことが理想
- 日本のSuicaのように利用範囲が広い**ICカードの制作や企業との連携によるアプリ導入**など、住民の生活スタイルに合わせた施策で鉄道の便利さを高め発信することが求められる

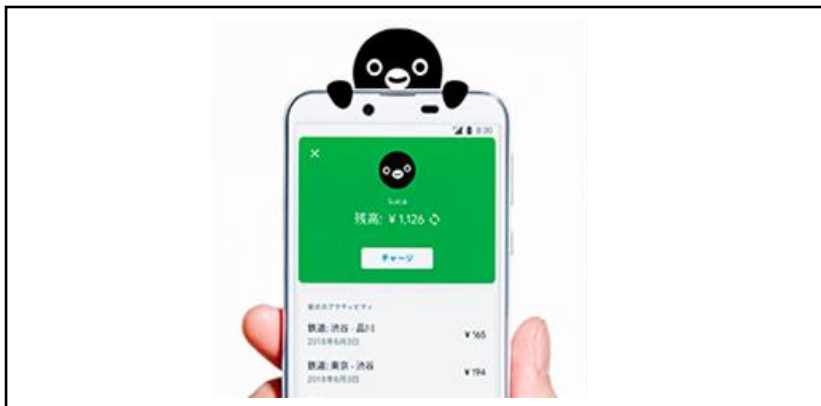
■ ハワイで導入された電子乗車カード



利用範囲は現在電車とバスのみとなっている。

出典：aloha street

■ 日本でお馴染みのモバイルSuica



日本ではお馴染みのモバイルSuica。スマホを操作するだけでチャージができ、お買い物も食事もSuica1枚で利用できる。登録者数は1,000万人を突破している。（2020年）

出典：JR東日本

多くの人に鉄道の利便性を伝え、環境に優しい交通行動を

■ 1920年代に運行していた鉄道



ハワイはかつてサトウキビ産業の中心地だった。1920年代、サトウキビを運ぶために鉄道が走っていたが、産業の衰退も影響し1947年に廃止された。現在、マウイ島には当時の鉄道と駅が残っている。その後の人口増加に対応するために、旅客鉄道の整備が求められるようになった。2014年に工事が始まり、2年遅れの2022年に「ホノルル・レール・トランジット」が開通となった。75年ぶりの鉄道、次ハワイに行く際に乗車するのが楽しみである。

写真：かつてハワイを走っていた鉄道
(2019年12月 マウイ島にて筆者撮影)

■ 参照・引用資料

- 東京都環境局, 「交通機関の種類とCO2排出量」, 2021年10月21日 (<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/vehicle/management/tokyo/transportation.html>)
- CarMe, 「世界の自動車税事情」, 2020年01月08日 (<https://car-me.jp/articles/7910>)
- ジェイロ, 「米自動車環境規制の見直し、新たな基準値と統一機銃に注目」, 2021年06月29日 (<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2021/6c7a26b74a72569b.html>)
- 東洋経済, 「ハワイで賛否両論、「ホノルル鉄道」が来年開業」, 2019年08月19日 (<https://toyokeizai.net/articles/-/297959?page=3>)
- NHK, 「ハワイに75年ぶりの鉄道 その意味は」, 2021年09月21日 (<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210921/k10013269501000.html>)
- alohastreet, 「HOLOカードの使い方」 (<https://www.aloha-street.com/article/2021/07/362502/>)
- JR東日本, 「モバイルSuica」 (<https://www.jreast.co.jp/mobilesuica/index.html/>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先： info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『[KIZUNA ESD](#)』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

— サステナブルレポートとは？ —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で
毎週更新中